

エピソード II: ローコード/ノーコード時代の CMS !

<https://magazine.joomla.org/all-issues/february-2026/episode-2-cms-in-the-low-code-no-code-era>



2026年2月19日

前回お知らせしたとおり、CMSの世界は、微妙な形でも、そうでない形でも、変化しつつあります。その中でも特に大きなプラスの影響を与えているのが、**ローコード/ノーコードによる変革のムーブメント**です 🚀。

2026年には、あらゆるものを自動化できる**ツール、プラットフォーム、サービス** が数多く存在します！

これらが以前のものとは異なるのは、**プログラミングの知識がほとんど、あるいは全く必要ないこと**です（特に、擬似プログラミングやプログラミングのニーズを満たすために **AI を少し組み合わせれば**）。（AIとローコード/ノーコード プラットフォームにおけるその役割については、このシリーズの**最終回**で詳しく説明します。）

ローコード/ノーコードの最初のコンセプトが生まれたのは 80年代後半（HyperCardを覚えていますか？ 😊）ですが、一般市場で受け入れられ、普及したのは 2020年代頃まで待たなければならなかったことを考えると、実に驚くべきことです。そしてなんと、わずか5年ほどでこれほど進化したのです（ドラッグ&ドロップインターフェース、自動リンク、自動データ検出、フォーマットなど）。

私はここ3~4年（特に過去18ヶ月以上）にわたり、クライアント向けの**自動化システム**を積極的に構築してきました。最近では、わずか22個の自動化（2~3ステップのシンプルなものから、958ステップと150個の変数を扱うタコのように巨大なものまで）で、クライアントの年間660時間以上の時間を節約しました。

実際のシナリオの抜粋をご紹介します。

「トレーニングコースを提供するウェブサイトがあり、顧客の購入状況に応じて適切なメーリングリストに自動的に登録し、数日後にはメール内のボタンをクリックするだけで追加サービスを選択できるようにし、トレーニングマニュアルをパーソナライズして PDF で配信し、氏名と連絡先情報を適切な Google カレンダーに自動追加して、直前の予約変更を電話で顧客に連絡できるようにしました。請求書が会計システムに自動的に入力され、Mattermost のインストール時に購入、登録などの通知が届きます。そして、トレーニングコースが終了し、合格すると、証明書が自動的に記入、署名され、発行されます。この証明書は、ウェブサイトの認定インストラクターマップと、マーケティングオートメーションプラットフォームの新しいマーケティングオートメーションシーケンスにインポートされます。」

これらすべて、そしてそれ以上の作業を手作業で行わなければならないと想像してみてください 🙄 🤖。

そして、これは実現可能な**無数のワークフロー**のほんの一部です…

ローコード/ノーコードの超強力で柔軟な世界を、お気に入りの Joomla! CMS に接続できるようになることで、ネイティブ Joomla 連携がまだない（あるいは将来も）、数百、数千ものソフトウェアや SaaS ソリューションなどが利用可能になります。しかも、わずか数分から数時間で Joomla 連携が可能になります！ 🥳

n8n、Pabbly Connect、Make、Zapier など、主要プラットフォームはそれぞれ独自のインターフェースと既に連携済みのアプリケーション群を備えています。多くのプラットフォームは（Web フックや API のおかげで）組み込みの連携機能がないソリューションでも連携できるようになっています。多少の学習は必要ですが、カスタム開発ほど簡単ではありません。

Joomla! の世界では、バージョン 4 以降、非常に優れた**タスクスケジューラシステム**が組み込まれており、いくつかの機能があらかじめ組み込まれています。開発者であれば、これらの機能を拡張することで、より多くのことが可能になります。Joomla Core に忠実に従い、Joomla! に組み込まれている機能を拡張することには、大きなメリットがあります（開発者の方は、Joomla Core の開発にぜひ貢献して、Joomla の自動化機能をさらに拡張してください）。

しかし、開発者ではない人、あるいは時間を節約したい多くの人にとって、Joomla を n8n や Make とネイティブに接続し、そして近いうちに他の主要な自動化プラットフォーム（Zapier、Pabbly Connect など）とも接続できるようになることで、非常に多くの可能性が開かれるでしょう。

はっきりさせておきますが、ローコード/ノーコードで物事を進めることには多大なメリットがあり、クライアントのニーズをこの方法で解決するプロセスや、「すごい！どうやったの？」という反応さえも素晴らしいものです。しかし、ローコード/ノーコードも完璧なソリューションではありません。

プロジェクトでローコード/ノーコードを採用する前に、考慮すべき点がいくつかあります。

1. 外部プラットフォームに依存することになりますが、そのプラットフォームはポリシーや価格をいつでも変更する可能性があります。また、連携機能を勝手に廃止してしまう可能性もあります。
2. Joomla などのサードパーティツールとの連携機能は、必要なタイミングで、あるいは期待通りに更新されない可能性があり、ワークフローに支障をきたす可能性があります（つまり、そのソリューションの迅速な更新に依存しているということです）。
3. 新しいプラットフォームや作業方法を学ばなければなりません…そしてインターフェースが変更されると、またその新しいインターフェースを学ばなければなりません…
4. これらの自動化プラットフォームには追加費用がかかります。中には生涯価格設定があってもかなりリーズナブルなもの（Pabbly Connect）もありますが、中にはすぐに高額になるものもあります（Zapier など）…（n8n は無料のオープンソースコミュニティエディションを備えた優れた選択肢ですが、設定にはサーバー、Docker、基本的な Linux コマンドなど、ある程度の知識が必要なので、初心者には適していないかもしれません）。

いくつか例を挙げてみましょう…

私自身、ローコード/ノーコードプラットフォームがクライアントや私自身のために多くのことを自動化する以前の時代に戻ることは想像しがたいことです… Mattermost の上の素晴らしい Joomla!コミュニティに参加して、自動化について語り合しましょう ;)

よくあることですが、重要なのは労力、リスク、そしてメリットを分析することです。

このシリーズの最終回では、Joomla!における AI の役割について見ていきます…

AI は多くの点でプラスであり、またある意味では恐ろしい存在です… 責任を持って使用すれば、より多くのことをより速く、より効率的に行うことができます！

来月、そのことについてお話しできるのを楽しみにしています！

Joomla コミュニティマガジンに掲載されている記事の中には、特定のトピックに関する著者の個人的な意見や経験を反映したものであり、Joomla プロジェクトの公式見解と一致しない場合があります。

